

授業科目 日本語表現法

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報	
亀尾 徹（他、各学科教員）		開講時期	後期	必修選択	選択	
		単位数	1	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度
○						○
【概要・一般目標：GI0】 高等教育を推し進めていく上で必要とされる、「読む」、「書く」、「発表する」ことを中心とした日本語能力および表現能力の向上を図ることを目標とする。						
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 一般的に用いられる語彙および簡単な専門用語を読み、書き、説明することができる 2. 文章を読み、それを要約することができる 3. 他者の話の中からキーワードを取り上げ、内容を要約することができる 4. 表、図、グラフなどの情報から気づいたことを他者に伝達（口述・記述）することができる						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション 授業の説明、小テスト（開始時）、作文				1-4.	
2	語彙トレーニング				1	
3	語彙トレーニング				1	
4	語彙トレーニング				1	
5	口頭発表トレーニング				1	
6	口頭発表トレーニング				1	
7	文章発表トレーニング				1	
8	文章発表トレーニング				1	
9	文章読解および要約トレーニング（1）				2	
10	文章読解および要約トレーニング（2）				2	
11	日本語ヒアリングトレーニング（1）				3	
12	日本語ヒアリングトレーニング（2）				3	
13	情報理解トレーニング（1）				4	
14	情報理解トレーニング（2）				4	
15	まとめ 小テスト（終了時）				1-4.	
【注】内容の詳細については変更があり得るので、掲示板に注意すること。						
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書		知へのステップ	学習技術研究会編	黒潮出版	2002	
その他の資料		授業開始時に指定する場合あり 必要に応じて資料を配付する				
【評価方法】 出席、小テストの結果、期末テストによる			【履修上の留意点】 授業参加に加え、積極的に自己学習に取り組む態度が求められる。 また、本科目は、各学科の担当教員が実施する。			